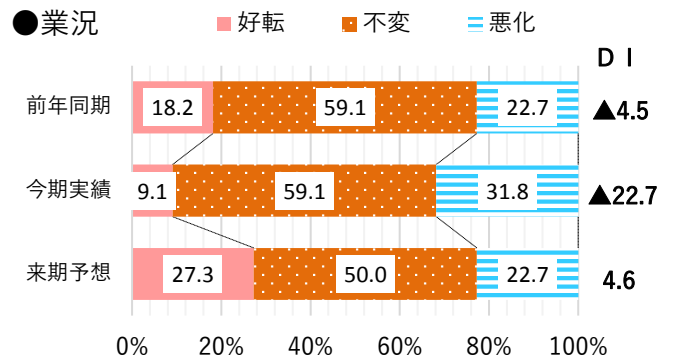


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

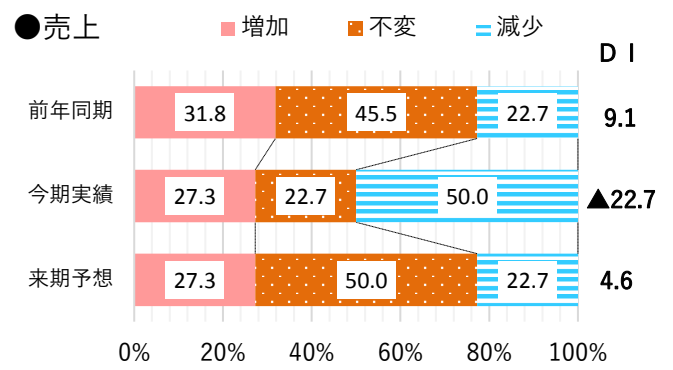
今期(2019.4～6)の業況判断DIは▲22.7で、前年同期(2018.4～6)と比べ18.2ポイント低下しました。

来期(2019.7～9)は、今期と比べ業況が大幅に好転すると予想しています。



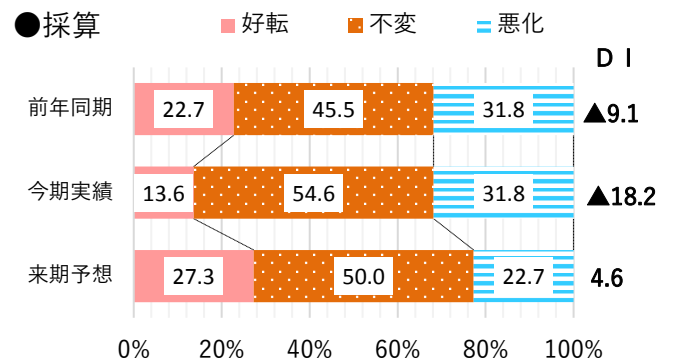
今期の売上DIは▲22.7で、前年同期と比べ31.8ポイント低下しました。

来期は、今期と比べ売上が大幅な増加に転じると予想しています。

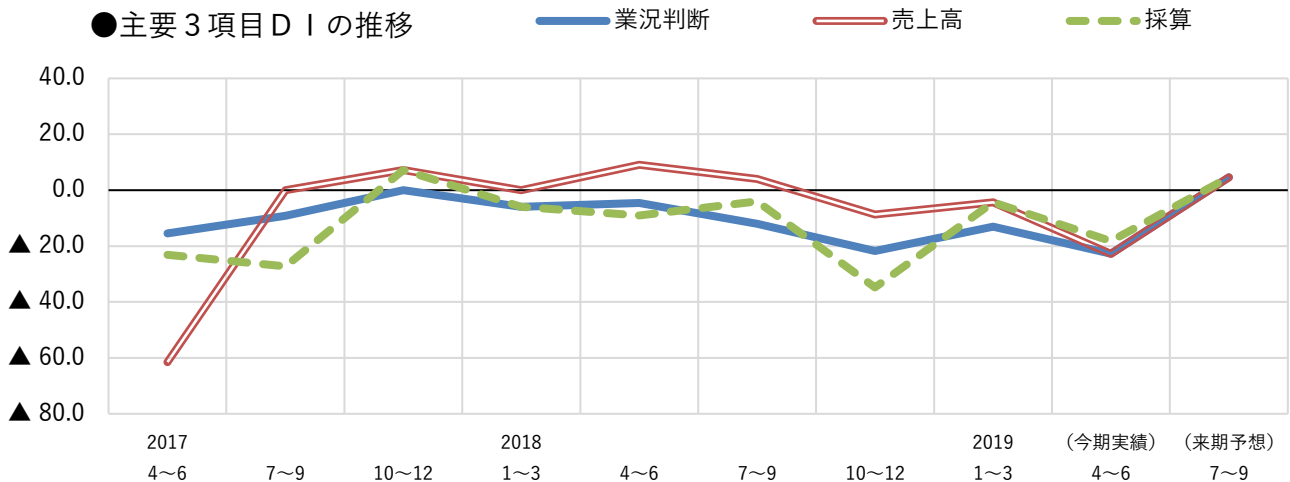


今期の採算DIは▲18.2で、前年同期と比べ9.1ポイント低下しました。

来期は、今期と比べ採算が好転すると予想しています。



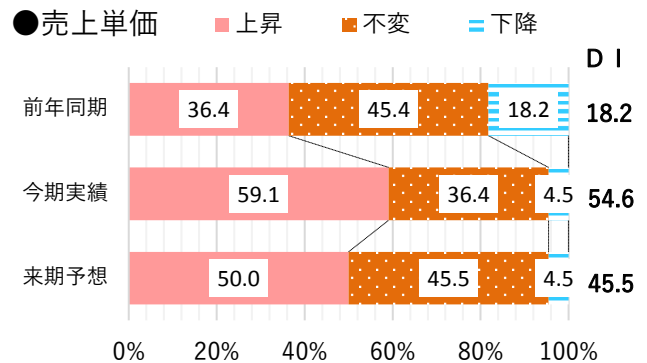
### ●主要3項目DIの推移



## 売上単価、商品仕入単価

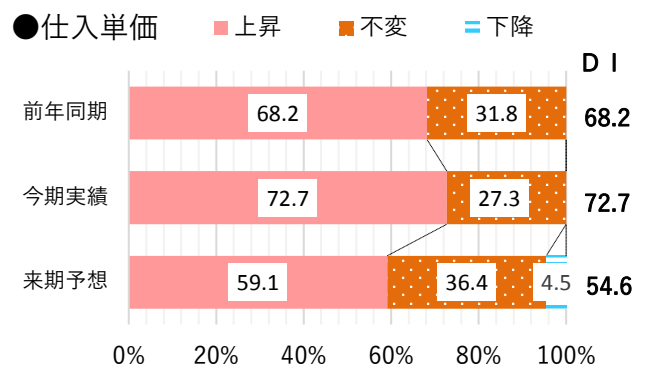
今期の売上単価DIは54.6で、前年同期と比べ36.4ポイント上昇しました。

来期は、今期と比べ落ち着いた動きが出るものの、売上単価の上昇傾向が続くと予想しています。



今期の仕入単価DIは72.7で、前年同期と比べ4.5ポイント上昇しました。

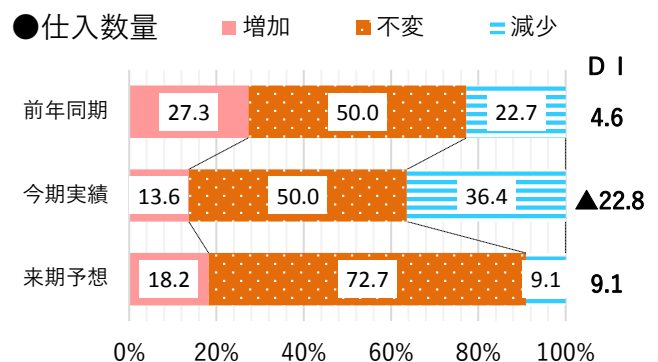
来期は、今期と比べ落ち着いた動きが出るものの、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

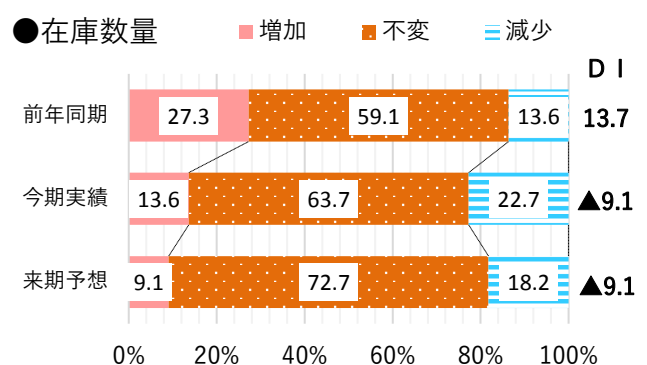
今期の仕入数量DIは▲22.8で、前年同期と比べ27.4ポイント低下しました。

来期は、今期と比べ仕入数量が大幅な増加に転じると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲9.1で、前年同期と比べ22.8ポイント低下しました。

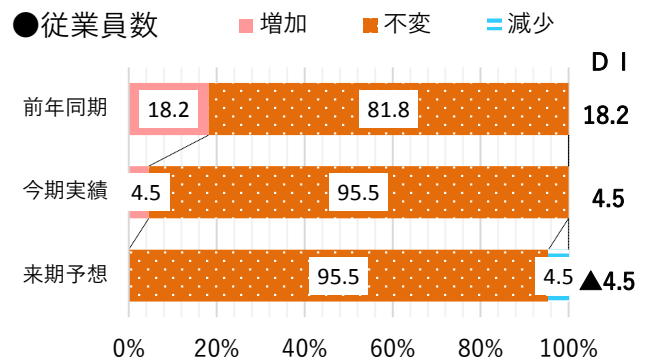
来期は、今期と比べ横ばいを予想しています。



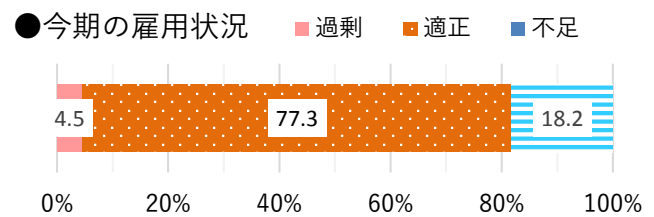
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは4.5で、前年同期と比べ13.7ポイント低下しました。

来期は、今期と比べ従業員数が減少に転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は4.5%、適正であると回答した企業の割合は77.3%、不足していると回答した企業の割合は18.2%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の72.7%を占めています。

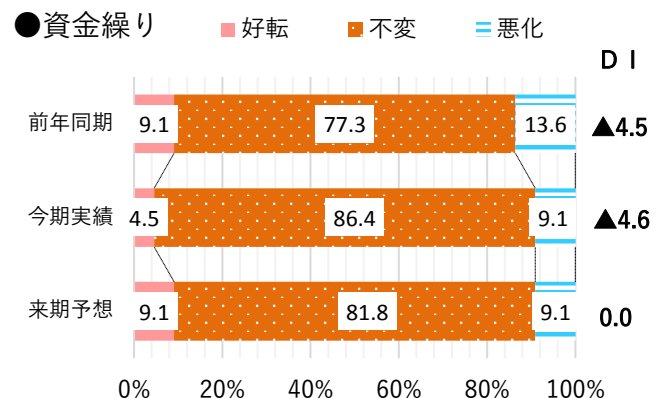
次いで多かった回答は「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	0
不変だった	過剰	1
	適正	16
	不足	4
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	0

## 資金繰り、設備投資

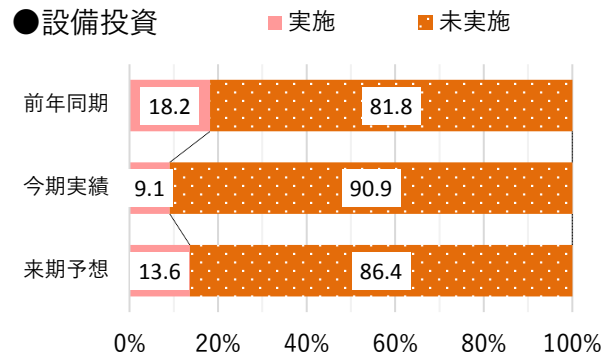
今期の資金繰りDIは▲4.6で、前年同期と比べ0.1ポイント低下しました。

来期は0.0で、今期と比べ資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



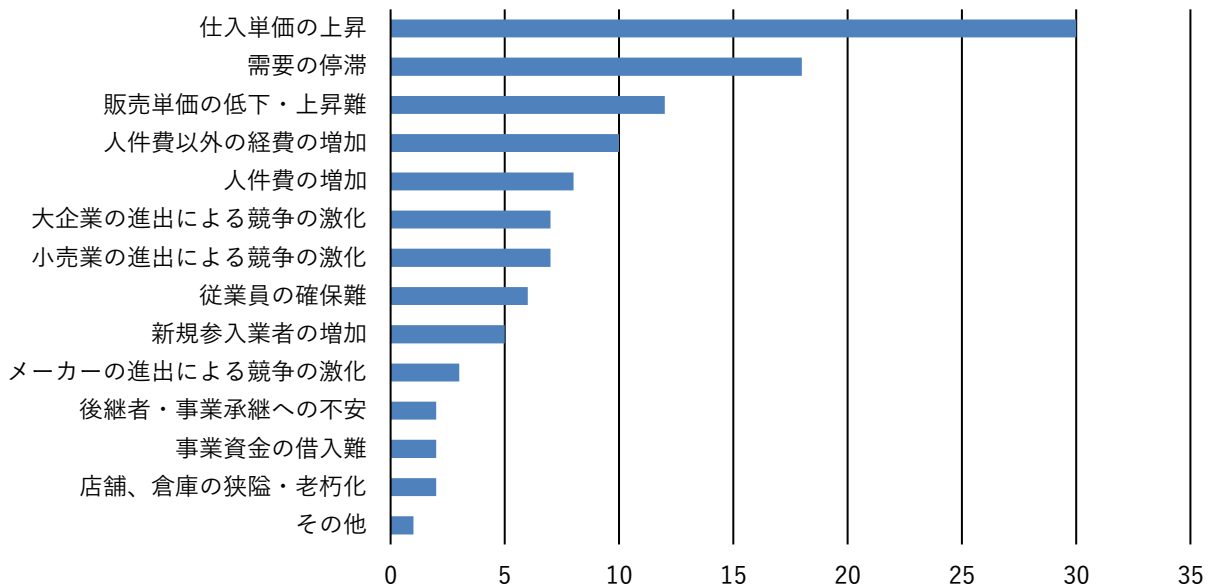
設備投資を実施した企業の割合は9.1%で、前年同期と比べ9.1%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、「O A機器」（同位）で、他の回答はありませんでした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は13.6%で、今期と比べ増加を予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「販売単価の低下・上昇難」の順です。



## 企業の声

[今期の業況について]

- 人手不足を背景とした人件費高騰による製造コストの上昇により、メーカー各社の価格改定が相次いだ。（食料・飲料卸売）
- 地銀の外貨取扱い規制が厳しくなった。（食料・飲料卸売）
- 北海道新幹線、国道5号高規格道路、ニセコ地区のリゾート開発等の物件に納入する生コンの原材料、砕石関係が不足しており、それに伴い価格が上昇している。人材も不足している。（建築材料卸売）
- 雪解けが早く、工事が順調に進んだため、販売量が増えた。（鉱物・金属材料卸売）
- 5月の売上高が減少した。6月の売上を、昨年度実績より増やせるかが課題である。（自動車部品卸売）
- 引合いの減少と、協力会社の人手不足が懸念される。本州向けに販売する、学校用空調設備の売上が増加した。オリンピック需要により、一部商品に不足が生じた。（電気機械器具）
- 大型連休があったため、売上が減少した。（事務用品卸売）

[来期の業況について]

- 消費増税に伴い、取扱商品の一部に駆け込み需要が予想される。(食料・飲料卸売)
- 10月の消費増税の影響は、一時的なものに止まると予想する。(食料・飲料卸売)
- 仕入価格の上昇が見込まれるが、販売価格への転嫁が課題となる。(鉱物・金属材料卸売)
- 業況の悪化を見込んでいる。(電気機械器具)
- 大型物件があるため、売上が好転するが、仕入単価が上昇し、利益は減少するだろう。(事務用品卸売)